

平成30年度 第1回事業評価監視委員会 審議案件一覧(再評価)

資料1

番号	審議区分	県名	事業名 [ ]は事業延長	前回評価年度 【】で前々回評価年度を記載している事業は、前回評価で前々回の費用便益分析結果を用いた事業 ( )は今回再評価理由	車線数	開通済み延長の変化 (H30.4時点)		事業費の変化		事業期間の変化		計画交通量の変化		費用便益比の変化				H31年度以降開通予定 (H30.4時点)	対応方針 (原案)
						前回	今回 ※H30予定含む	前回	今回 【】は前回との差	前回	今回 【】は前回との差	前回	今回 【】は前回との差	全体		残事業			
														前回	今回 【】は前回との差	前回	今回 【】は前回との差		
1 (資料3-1)	重点	秋田	日本海沿岸東北自動車道 能代～小坂 一般国道7号 二ツ井今泉道路 [4.5km]	H29 (社会情勢変化)	2/2	0.0km	0.0km	150億円	235億円 【+85億円】 ○重金属対策の追加 ○重金属対策に伴う 縦断変更	10年 H24～H33	10年 H24～H33	(一体) 12,100台/日 ■推計：H17OD第2段階改善 〔(個別) 12,600台/日〕	(一体) 11,800台/日[-300] 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD 〔(個別) 12,200台/日〕	(一体) 2.3 〔(個別) 1.4〕	(一体) 1.9 【-0.4】 事業費の増加によるB/C減少 〔(個別) 0.93〕	(一体) 3.3 〔(個別) 2.4〕	(一体) 2.2 【-1.1】 事業費の増加によるB/C減少 〔(個別) 1.5〕	-	事業継続
			日本海沿岸東北自動車道 能代～小坂 一般国道7号 鷹巣大館道路(Ⅱ期) [5.6km]	H29 (社会情勢変化)	2/2	5.6km (完成2)	5.6km (完成2)	270億円	270億円	14年 H19～H32	14年 H19～H32	(一体) 12,100台/日 ■推計：H17OD第2段階改善 〔(個別) 11,900台/日〕	(一体) 11,800台/日[-300] 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD 〔(個別) 11,500台/日〕	(一体) 2.3 〔(個別) 2.9〕	(一体) 1.9 【-0.4】 事業費の増加によるB/C減少 〔(個別) 2.5〕	(一体) 3.3 〔(個別) 8.8〕	(一体) 2.2 【-1.1】 事業費の増加によるB/C減少 〔(個別) 10.8〕	-	事業継続
2 (資料3-2)	重点	福島	(復興支援道路) 東北中央自動車道 相馬～福島 [約45km]	H29 (社会情勢変化)	2/2	27.5km	27.5km	2,065億円	2,077億円 【+12億円】 ○道路法面変状対策 ○発生土の安定処理	10年 H23～H32	10年 H23～H32	10,500台/日 ■推計：H17OD第2段階改善	9,400台/日[-1,100] 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD	1.1	1.02 【-0.08】 交通量の減少によりB/C減少	2.2	5.2 【+3.0】 投資によるCの減少によりB/Cが増加	■相馬～相馬西(6km) H31 ■霊山～福島 ・霊山～福島保原線(7.4km) H32 ・国道4号～福島北JCT(2km)H32	事業継続

※第2段階改善：平成25年度から反映。各交通分野毎に推計していた分布交通量（OD表）を統合して推計（将来交通量推計が過大にならないように、全国統一で2段階で改善）